

どっきん☆くらぶ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	田舎のおばあちゃんちのような古民家で開催しています。子ども達が元気に「ただいま～」と学校から帰ってきて、家でも学校でもない和やかな居場所になっています。 市内の子ども誰でも参加できるので、違う学校の子を交わったり、1～6年生の子ども達がいるので、異年齢で関わり合ったりしています。年齢の大きい子どもが低学年の勉強をみたり、世話をしあげたりと頼もしい様子も見られます。1年生からずっと通う子もあり、成長が見られます。 広い庭があり、外遊びもたくさんできるので、鬼ごっこ、縄跳び、ドッジボールなどで思いっきり遊ぶことができます。 今年度から、おやつ作りも再開し、自分で作ったおやつを堪能しています。 毎週、学生や青年のボランティアさんが来てくれ、子どもたちと楽しく過ごしてくれています。
活動場所	NPO 法人さぬきっずコムシアター内施設 な～や 土器コミュニティセンターなど
活動日・時間・実施回数	火～金曜日 14:30～18:30 162回 休日 13:00～18:00 1回イベント 夏休み教室 9:00～12:00 15回
活動内容	自由あそび、簡単工作、季節工作、おはなし会、野菜ソムリエさんの野菜教室、竹パン教室、陶芸教室、野菜作り、ボードゲーム、フィットネス教室、わらべうた体験、ストーリーテリング、レザークラフト、サイエンス教室、防火訓練、茶道体験、うどんづくり、外遊び、バス遠足、多世代交流イベント
教室の充実に向けて	様々な体験ができるよう幅広く地域の方に関わって頂くことや、スタッフのスキルも向上できるよう研修会参加や情報収集にも努めています。子ども達が年齢性別に関係なく、関わり合えるよう、外遊びやゲームに取り組んでいます。保護者と子どもに対して説明会を行い、大切にしていることや決まり事など事前に理解してもらう機会を作っています。 スタッフミーティングを月に1回設け、子どもの様子や取り組みの振り返り、計画等の話し合いをし、スタッフ間での共有を図っています。
登録児童数・平均参加人数	登録児童数：57人 平均参加人数：15人

子どもとのかかわり方の工夫

- 子どもたちが自主的に取り組めるよう、スタッフは指導者ではなく寄り添うファシリテーターとして関わっています。
- 学年や性別に関係なく、みんなが関わり合えることを大切にしています。
- 子どもたち一人ひとりを「認める」こと、受容することを大事にしています。
- 生活力、自己管理能力、創造力、編集力を身につけられる場、個性を大切に子ども達同士の認め合いまた自己実現の場にもなるよう環境づくりやスタッフ同士のスキルアップにも努めています。
- 感染症対策を行いながら、子ども達との関わりに影響がでないよう気を付けています。
- 個性ある子も多く、コミュニケーションが難しい子もいるため、子どもとのかかわり方に対し、常にスタッフ間で情報や関わり方などの共有を密にしています。
- 保護者と子どもの様子を共有する為、お迎え時に話をする時間を取るようしています。



地域の方とうどんづくり



思いっきり外遊び

ろくごう夢クラブ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	地域の方々と子どもたちが地域社会のなかで、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを提供する。
活動場所	城坤コミュニティセンター・城坤小学校（スポーツ）
活動日・時間・実施回数	活動日 24 日・60 時間・30 回
活動内容	サイエンス・陶芸・クラフト・スポーツ・お菓子づくりを学年別に実施した。
教室の充実に向けて	単調にならないように、通常では、体験できないような教室や終わった後、家庭で会話が弾むような教室にこだわっている。
登録児童数・平均参加人数	登録児童数 101 人・平均参加数 23 人

子どもとのかかわり方の工夫

- 学年別により、同じレベルで学べ、友達にもなれ、楽しく勉強できるように心がけた。
- 学校、保護者、地域の支援者・子どものかかわりを大切にし、夏休みの間、子どもたちの居場所づくりに心がけた。
- 保護者の信頼を得ながら、楽しく学べ、参加しやすく、家族間の会話がはずむように心がけた。



クラフト教室



陶芸教室

わんぱくクラブ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	親子で様々な活動を協力して、楽しく体験をする。地域の自然体験を取り入れています。
活動場所	飯山北コミュニティ、地域の畑、公園、
活動日・時間・実施回数	4月から12月の9回～10回 基本第四土曜日の午前中
活動内容	畑で作物を育てる。音楽を聴く、楽器を触る。夏空の星観察。うどん文化を体験。地域の体育祭に参加。
教室の充実に向けて	活動の内容を多様にする。
登録児童数・平均参加人数	登録者数 51 名、参加人数 15 名～30 名

子どもとのかかわり方の工夫

- 楽しい企画を考えています。地域のいろいろな場所に出かけてゆく。コロナが第五類になって、活動内容が以前のようにして行ければと、思っています。高学年の子どもが少ないので、どのような活動が良いのか、試行錯誤しています。



うどんの塊を足ふみで伸ばしています。



サツマイモを懸命に掘っています。

おじょもんクラブ

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	幅広いジャンルの体験型教室
活動場所	飯野コミュニティセンター
活動日・時間・実施回数	30 回程度・冬休み・春休み・土日
活動内容	レクリエーション・スポーツ大会・クラフトなど
教室の充実に向けて	家庭・学校・青い鳥教室との連携
登録児童数・平均参加人数	登録者児童数 105 名 ・ 平均参加者数 45 名

子どもとのかかわり方の工夫

- あいさつ・整理整頓・準備・片付け等約束事を決めている。
- 学年に応じて準備や活動のレベルを変え、子どもたちみんなが楽しめるように配慮している。
- 参加者が多いため、スタッフの配置を調整し安全管理を徹底している。
- 子どもたちからの声を運営委員会で共有できるよう、しっかり声掛けをしている。



アロマキャンドル 8 月 8 日



料理教室 8 月 22 日

みんなのみなみ みなみのみんな

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	・地域の人との交流を通して地域を愛する子どもを育てる。 ・城南地区は、転入してくる人たちが多い地域である。児童数も増加傾向にある。そんな今だからこそ、「地域みんなで地域の子どもの育てる」という意識を強く持つことが大切になってくる。教室名の「みんなのみなみ みなみのみんな」は、地域全体のキャッチフレーズでもある。
活動場所	・丸亀市立城南小学校 ・城南コミュニティセンター
活動日・時間・実施回数	夏休み6日間（サマースクール）8：30～11：30
活動内容	・木工教室1日 ・ドリル教室2日 ・本大好き教室1日 ・ポスター教室1日 ・料理教室1日 } サマースクール
教室の充実に向けて	・数年ぶりに料理教室を開催することができた。長い夏休みに、子どもたちが火を使わずにお昼御飯が作れるようにと、「おにぎらず」を作った。木工教室・ポスター教室、本大好き教室は、昨年同様、小学校体育館を使用し実施した。 ・毎年、参加員数が増えていくのでスタッフの確保も十分に行う必要があった。スタッフとの打ち合わせをきちんと行うことでゆとりをもって子どもに対応することができた。
登録児童数・平均参加人数	サマースクール 登録人数 141 人 平均参加人数 100 人

子どもとのかかわり方の工夫

- 各教室を運営するにあたっては、内容や人数を精査し、子どもたちの「やりたい」声にできるだけこたえられるように、計画を練っている。子ども一人ひとりに丁寧に接することや、回数を重ねて顔を合わせることで、スタッフと子どもの距離が縮まってきたように思う。しかし、スタッフは「転ばぬ先の杖」になるのではなく、子どもたちが、できるだけ自分の力でハードルを越えられるように、見守ろうと共通理解を図っている。
- 城南小学校区地域学校協働本部の活動と連携することで、人的ネットワークを活用でき、それぞれの活動が子どもにとってもより充実したものになる。そして、地域の絆も深まり、「みんなのみなみ みなみのみんな」の意識の高まりにもつながっていている。

料理教室



ポスター教室



富っ子クラブ

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	科学的なものの見方、考え方を養う
活動場所	富熊コミュニティセンター、ゆうとぴあ綾歌
活動日・時間・実施回数	奇数月、第3日曜日、夏休み
活動内容	電気の回路、法則の習得と組み立て 親子が一緒に考える
教室の充実に向けて	科学工作から天体観測まで幅広い専門知識で行う。
登録児童数・平均参加人数	登録数70名、平均参加 5名～20名

子どもとのかかわり方の工夫

- LED点滅、プログラミング、クリスマスツリー作成、考え、作る力を養う
- 天体観測にて親子で楽しく実施、想像力を発揮
- 夏休みの宿題を教師経験者に教わりながら実施



子ども防災、科学クラブ



夏休み宿題塾

ひまわりエルダークラブ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	・大人が活動内容を決めるのではなく、子どもがやりたいことを見つけ、計画、実行することを楽しめる教室です。
活動場所	・丸亀ひまわりこども園（活動内容により園外に出ることも多いです）
活動日・時間・実施回数	・春 夏 冬の長期休み ・8:30～17:30 ・年間 30 回程度
活動内容	・クッキング 保育士体験 ・社会見学（遠足）
教室の充実に向けて	・子どもの意見を大切にしています。
登録児童数・平均参加人数	・登録自動 20 名程度 ・参加 4 名/日

子どもとのかかわり方の工夫

- 子どもの疑問や質問に対して、すぐに助言や答えを教えるのではなく、答えにたどりつくまでのプロセスを楽しめるような関わりや言葉かけを心がけています。



○子どもたちで目的地を決め、交通手段や予算などを調べ、計画を立てた遠足。日々の生活で公共交通機関を使うことが少ない子供にとって、屋島までの電車やバスの乗り継ぎは大きな経験につながったようでした。



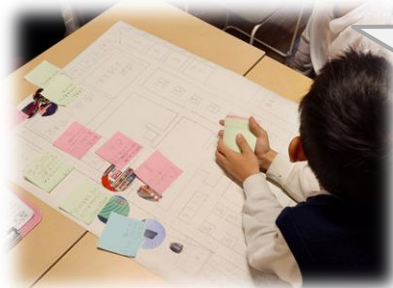
○保育士体験。様々な年齢の子どもたちとの交流を楽しむことができます。在園児にも、とても人気のお兄さん・お姉さん先生です。

COCO 育

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	「ココ行く?」「ここで育つ」をキャッチフレーズとし、子ども1人1人が持つ潜在能力を信じて、子どもを主体とした学習や体験活動等の多様な活動を行っております。 また英語、漢字、プログラミング、論理文等の検定認定会場として定期的に検定を実施しております。日々の学習において子どもたちの学ぶ意欲を大切に、新しいことに挑戦する機会を提供しています。 さらに、地域の人々との交流、日本の伝統文化の継承を考えたイベントの実施で、地域全体での子育てができる環境づくりを目指しております。
活動場所	b&g まるがめ施設内（丸亀市立城辰小学校北側にあります）
活動日・時間・実施回数	毎週月曜日～金曜日、15:00～17:30、月に平均20日
活動内容	・学習（宿題や自主勉強、検定にむけての学習） ・体験活動（季節に応じたイベント、ハンドメイド、プログラミング、オンライン学習等） ・地域交流（青い鳥教室との合同遠足、コミュニティセンターでの季節のイベント、防災体験学習等）、高校生・大学生ボランティアとの屋内・野外体験
教室の充実に向けて	室内遊び以外にも屋外、オンラインなど多種多様な活動を実施
登録児童数・平均参加人数	登録16人、平均5人

子どもとのかかわり方の工夫

- こども会議を中心とした意見交換の場を設け、常に子どもが主体となって活動を行う。
こどもの自主性を大切に、楽しく活動に参加できる環境づくりを心がける。
- お金の学習の一環として、教室内で使える通貨（キッズハート）の活用。
→将来、働くために必要な表現力・計画性、お金の価値を育む為の豊富な仕掛けとして
お手伝いを仕事に見立て、応募・面接を行い、一か月の給料制とする等。
→使い方は自由！教室内にあるミニ売店で文房具やおかしを買ってもOK！貯めてもOK！
- 職員の子どもとのかかわり方についてのスキルアップの強化
→ボランティアさんも含めた、定期的なミーティングの場を用いて共通した接し方が出来るよう、心がける。



【カラフル町探検】

川西地区を探検！地図にまとめて発表し、地域の魅力を再発見。

【健康教育】

香川県立保健医療大学学生による健康についての特別授業！

